

駅東側も今後整備を図って参りたいと考えております。

下水道整備基本計画の啓蒙及び農業集落排水事業計画の策定

平成四年度に下水道整備構想の策定を、平成五年度と六年度の二箇年で基本計画を策定し、七年度には住民のご理解とご協力が頂けるようPRをしたいと考えております。又、公共下水道事業に先がけて、木戸台（町原、小堤を含む）・牛熊・谷台地区の農村集落の下水排水処理に

ついても、七年度事業計画を策定し、事業実施に向け推進して参りたいと思っております。

ごみ焼却施設整備事業による環境整備

山武郡環境衛生事業振興組合が実施しておりますごみ焼却施設整備及びリサイクルプラザ整備事業につきましては、平成六年、七年の二年間でほぼ完成の見込であり、ごみの適正な分別、収集・運搬、再生・処分等を行い、生活環境の保全及

び公衆衛生の向上に努めて参りたいと考えております。

保健・福祉センターの建設及びデイサービス事業

近年急速に人口の高齢化が進んでおりまして、今後ますます高齢化社会の到来が予測され、保健・福祉施設の整備充実が叫ばれてきております。

当横芝町においても、昨年三月「横芝町老人保健福祉計画」を策定したところであり、このような高齢化社会に

明るい未来に向かって

横芝町議会議長 齊藤重宏



とじています。「不惑」とは、「恐ろしいこと」「恐ろしい」「思案に暮れる、思い悩むこと」であります。様々な思いや経験をして四十歳ともなれば「それなりの決断や実行がきちんと出来なくてはならない」という意味です。

西洋には、「人は四十歳になったら自分の顔に責任をもて」という言葉があります。

人に信頼感を与える風貌、内なる人格形成の輝きが、自らにじみでた顔、それは美醜を超えたその人の財産であり、四十歳までの過ごし方が、積み重ねた結果、ということ四十歳には、世界共通の教えがあるようです。

新春のおよろごびを申し上げます。今年、横芝町制施行四十周年を迎え、二月に盛大な記念式典が予定されています。発展を続ける横芝町のひとつの大きな節目として、これを機会に今まで以上の飛躍的な一歩を踏み出す年にしたいものです。東洋の哲学は、四十歳を「不惑の年」

横芝町四十周年は、そういう意味で、町民一人ひとりが改めて自分たちの住むこの横芝町について真剣に考えるべき時なのではないでしょうか。

水や大気や大地を巻き込んだ大きな環境の問題、知識や心や情報網を含む教育の問題、浮沈をくり返す経済の問題、そして宗教や国境、風俗習慣、歴史等の差異が阻む平和の問題、どれもすべて一朝一夕には解決し得ない重い課題であり、惑わずにはいられない世界の情勢であります。

しかし、私共は千里の道も一歩より、の気構えをもって行くべき方向をしつかりと見据え、皆で頑張って行きましょう。進み行く横芝町の町政の一端を担う者として、それぞれの立場から貴重な御意見を頂きながら微力を尽くして努力したい。自分自身に自らの覚悟を誓うと共に、一致協力の明るい横芝町建設を目指した意義ある年であるよう心から願うものがあります。

対応しうる施設整備を図る必要があり、七年度にはこの保健・福祉センターの基本計画設計に着手し、真に長寿を喜び、安心して暮らせる活力ある地域社会を目指し、地域ぐるみの福祉の充実に向け、努力して参りたいと考えております。

また、この福祉施策の一環として六年度事業において、坂田池畔にある広域の老人ホーム内にデイサービス事業利用者の送迎車を導入する予定でありまして、七年度から入浴サービス・給食サービス等のデイサービス事業を実施し、高齢者が安心できるような福祉の充実を図って参りたいと思っております。

その他、道路や排水路の整備等住民生活に密着した施策を進めながら農工商のバランスのとれた産業の振興を図って参りたいと存じます。特に町の基幹産業であります農業の振興については、農村総合整備モデル事業等を推進し、農業生産基盤の整備や、集落農道・集落排水路等の整備を進め、生産性の向上、生活環境の改善に努めて参りたいと考えております。

以上、平成七年度の施策の一端を申し上げますが、現下の社会経済状況等を踏まえながら、二十一世紀に向けた調和のとれたまちづくりを目指して、各施策を推進して参る所存でございますので、尚一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、町民の皆様の益々のご繁栄とご健勝、そして平成七年がご家族の皆様にとりましてよりよい年でありませうと祈り申し上げます。